

第110 回日本医学物理学会学術大会  
大会長賞および優秀研究賞

第110 回日本医学物理学会学術大会  
大会長 山本 徹  
プログラム委員長 小島秀樹

平成27 年9 月18 日（金）・19（土）・20（日）の3 日間、北海道大学医学部学友会館フラテにて第110 回日本医学物理学会学術大会を開催させていただきました。大会にご協力いただいた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。あいにくのぐずついた天候の中での開催となりましたが、おかげさまで演題数が137題と日本単独開催の秋季大会では過去最高を記録し、また、459名と多数のご参加をいただきました。今大会は、「医学物理の未来を語ろう！—学術融合による新たな展開—」というテーマのもと、放射線診断物理学、核医学物理学、放射線治療物理学、放射線防護・安全管理学、基礎医学物理学など、医学物理学のそれぞれの領域の専門家が、互いの領域を知ることで新たな学術融合が生まれ、さらに発展することを期してシンポジウムなどの大会企画を準備し開催いたしました。各セッションでの活発な討論に加え、会場内や情報交換会などにおいても数多くの方々の語り合う姿が見られ、盛況な学術大会であったと思います。これもひとえに、皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

本大会では、優秀な研究発表に対して表彰を行いました。プログラム委員が発表内容を新規性・独創性、発展性・波及効果、有用性・実用性の観点で評価し、一般演題100 演題およびポスター演題37演題の中から上位20 演題を表彰しました。その中でもとりわけ大会テーマに合致した2 演題については、大会長とプログラム委員長の最終審査により、大会長賞として表彰させていただきました。

表彰者は下記の通りとなっております。本表彰が、会員のみなさまの今後の研究活動を発展させるモチベーションの向上につながれば幸いです。

大会長賞（50音順）

筆頭演者	所属	演題名
古徳 純一	帝京大学	時系列モデリングを用いた呼吸の異常検出
平山 嵩祐	日立製作所	Acceleration of dose optimization algorithm for spot scanning technique

優秀研究賞（50音順）

筆頭演者	所属	演題名
石原 佳知	京都大学	ジンバル機構を用いた動体追尾照射に対する四次元実投与線量計算システムの開発

稲庭 拓	放射線医学総合研究所	Nuclear-interaction correction of integrated depth dose in carbon-ion radiotherapy treatment planning
上野 克宜	日立製作所	近赤外蛍光を利用した光ファイバ型オンライン線量計の開発
梅田 雅宏	明治国際医療大学	ヒト脳内のGABA測定条件の最適化
加賀谷 美佳	茨城大学	ガンマ線の到来方向がわかるコンプトン型サーベイメータの開発
兼松 伸幸	放射線医学総合研究所	Influence of nuclear interactions in body tissues on tumor dose in carbon-ion radiotherapy
菊地 侑	北海道大学	MRI検査における熱傷事故を予知する方法
黒澤 忠弘	産業技術総合研究所	小線源治療用Ir-192の空気カーマ率絶対測定
椎名 卓也	日本アイソトープ協会	井戸型電離箱測定における <sup>192</sup> Ir-RALS密封小線源の線源タイプによるレスポンスへの影響
篠原 広行	首都大学東京	L1正則化逐次近似画像再構成によるギブスアーチファクトの抑制
照沼 利之	筑波大学	プロジェクションマッピングによるBNCT用患者位置合わせの基本機能開発
平田 雄一	北海道大学	International standardization of complex real-time controlled radiotherapy systems for a moving target
水野 秀之	放射線医学総合研究所	炭素線治療多施設共同臨床研究J-CROSのQA体制の構築
望月 大樹	北里大学	プラスチックシンチレータによる電子線線量分布の可視化
森下 雄一郎	産業技術総合研究所	EGS5の妥当性の実験的な検証
八木 雅史	大阪大学	Dosimetry with a plastic scintillation fiber detector in a magnetic field toward MRI-guided radiotherapy
山本 祥太郎	首都大学東京	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub> セラミックス板の熱蛍光特性を利用した半価層測定
米内 俊祐	放射線医学総合研究所	炭素線治療における誘導放射能からの放射線技師の被ばく線量の推定